

2. 国際医療薬学教育研究推進プログラム

事業参画大学間の連携プログラムとして実施したものには【連携】を付した。各プログラムの成果については、実施大学のホームページ等に詳細が記載されている。なお、プログラム名に（*）を付したものについては別添の資料が提出されている。これらについては、本事業のホームページの資料あるいは各実施大学のホームページ等でご参照いただきたい。また、参画大学からの事業報告の中で、本事業の主な5つのアドバンスト教育研究プログラムとしても報告があるものについては、プログラム名と簡単な概要を取り上げた。

【2019年（平成31年／令和元年）度】

1) 学部生、大学院生を対象としたプログラム

<北海道大学>

○ 海外研修プログラム：「台北医学大学との学生交流」

- ・学部生及び大学院生を対象として、今年度で5年継続しているプログラムである。
- ・台北医学大学薬学部の研究室を見学、各自の研究内容に関する発表と意見交換を行った。
- ・台北医学大学の附属病院及び提携病院で、主に薬剤師が行っている業務や臨床研究部門を見学し、薬剤師業務や医療・保険制度の両国間の違い等について意見交換を行った。
- ・東北大学においても同様の研修を行っており、昨年に引き続き合同の成果発表会を行なった。

◇ 参加人数：臨床薬学専攻博士課程学生1名、6年次生1名

<富山大学>

○ ニュージーランド語学研修

- ・学部生を対象として、ニュージーランドでホームステイをしながらの語学研修を実施した（外国人教員が帯同）。

○ 南カリフォルニア大学における臨床薬学研修

- ・学部生及び大学院生を対象として、南カリフォルニア大学でのPharm Dコースの一部を体験する臨床薬学研修を実施した。

<金沢大学>

○ 国際医療人育成プログラム

- ・学部生及び大学院生を対象として、金沢大学の環境と健康に関する豊富な研究・教育における実績を活かして、1) 疾病を誘発する環境要因を明らかにし疾病予防に結

びつけるための高度な研究力の養成、2) 日本人学生も含めた協同学習による国際コミュニケーション能力の涵養、3) 国際機関や各国政府・自治体、研究機関、企業等で環境計測、健康影響評価、予防施策を実践・指導できる人材の育成を目的とした教育研究プログラムを実施した。

○ 短期留学プログラム

- ・学部生を対象とした単位認定プログラムとして、英語力を伸ばし、専攻に関わるグローバルな視野を広げることを目的とした短期留学プログラムを実施した。金沢大学薬学類・創薬科学類の2年次生の第2クォーターに実施した。
- ・本プログラムは、1) 英語によるコミュニケーション力の醸成、2) 海外における薬学教育の理解、3) 英語プレゼンテーションの実践、4) 異文化体験を目的としたものである。

<静岡県立大学>

○ アリゾナ大学薬学部研修

- ・学部生を対象として、大学間協定校であるアリゾナ大学薬学部を訪問して、米国の薬剤師業務、薬学教育や医療制度について学ぶ研修を実施した。

◇ 参加人数：教員1名、5年次生2名

○ 短期語学留学プログラム

- ・学部生を対象として、カナダビクトリア大学イングリッシュ・ランゲージ・センターへの短期間語学留学を行った。

◇ 参加人数：学部生2名

○ 薬学英语プログラム

- ・学部生を対象として、ネイティブ教員（薬学部専任准教授）による薬学領域における英語コミュニケーションを習得する教育を実施した。

○ イングリッシュリサーチプレゼンテーションプログラム

- ・学部生及び大学院生を対象として、ネイティブ教員（薬学部専任准教授）による薬学研究発表を英語で行う際の実用的なトレーニングを実施した。
- ・学部生は自ら行ってきた卒業研究に基づいて英語での発表資料の作成と発表練習を行った。

○ 科学英語プログラム

- ・大学院生を対象として、ネイティブ教員（薬学部専任准教授）による国際学会での発表支援をカリキュラムの中で実施した。

<京都大学>

○ 海外自主学修プログラム in タイ

- ・学部生及び大学院生を対象として、現地体験を通じて海外と日本における薬学教育や医療制度の違いを考え、グローバルな視点を身につけるために、タイのSilpakorn大学および病院・地域薬局などの施設を訪問した。

- ・Silpakorn大学では、タイの医療費、保険制度、医薬品選定制度、医療制度に関する講義を受け、大学内に開設された薬局において現地の薬学部6回生と教育制度や薬局で取り扱う医薬品における両国間の違いについてディスカッションをした。
 - ・Nakorn-Parthom州FDAやPrachote Plengwittaya (受託分析・知財管理)、Organics Cosme社などの見学では、医療機関以外での薬剤師の職能や役割について理解を深めた。
- ◇ 参加人数：教員1名（京都大学）、学生4名（京都大学2名、熊本大学2名）

<岡山大学>

○ フィリピン共和国における高度先導的薬剤師研修プログラム (*)

- ・学部生及び大学院生を対象として、徳島大学と連携して、発展途上国での薬学教育および薬剤師業務の高度化に貢献できる国際性に富んだ高度先導的薬剤師の養成を大きな目標として掲げ、フィリピン・University of San Carlos (USC：岡山大学と大学間交流協定を締結済)における5日間の研修プログラムを実施した。
 - ・参加学生の関心の高い授業への参加とUSC学部学生の実習の指導補助に加え、セブ・シティ市内の中核病院であるPerpetual Succour Hospital (PSH)と併設されているセブ・ガン研究所、さらに同市内薬局3店舗の視察など、実質5日間の海外研修を実施した。
 - ・最終日には研修参加学生による英語でのプレゼンテーションを実施した。岡山大学薬学部生には、「特殊講義（国際連携薬学人材育成プログラム）」の単位（2単位）を認定した。
- ◇ 参加人数：大学院生1名、学部生4名（岡山大学3名、徳島大学1名）、教員4名

○ タイ王国（マヒドン大学・ブラパー大学 その他医療機関）研修プログラム (*)

- ・学部生を対象として、近年の経済発展が目覚ましく、医療分野においても医療技術の向上に伴い、医療ツーリズム事業を政府主導で展開しているタイの大学、病院、薬局、JICA・JASSO、日系製薬企業を訪問し、タイにおける薬学研究、医療人材育成、医療ビジネス、社会保障対策の現状を学ぶ研修プログラムを実施した。
- ◇ 参加人数：3年次生1名

<広島大学>

○ 米国薬学部臨床実習研修

- ・学部生及び大学院生を対象として、テネシー大学、マーサー大学を訪問し、臨床実習や講義の受講、及び各地域の病院・薬局薬剤師業務の研修を実施した。また、日本の薬学教育及び病院薬剤師の役割についてのプレゼンテーションと意見交換を行った。
- ・テネシー大学における研修では、他国からの学生や臨床薬剤師も同じ研修に加わる

ことによって、米国のみならず、その他の国の薬剤師教育や臨床業務についても議論し、状況の共有と大学間交流を行った。

<徳島大学>

○ 2019年度 徳島大学薬学部—米国ノースカロライナ大学（UNC）薬学部症例検討ビデオカンファレンス

- ・学部生を対象として、学部間協定校である米国ノースカロライナ大学（UNC）薬学部との交流事業の一環として、ビデオ会議システムを活用し、両校学生によるリアルタイムでの症例検討会を例年実施している。
- ・本年度は、4回のビデオカンファレンスを実施し、英語での症例検討を行うことで、臨床におけるグローバルな考え方の必要性について学んだ。

◇ 参加人数：学部生26名

○ フィリピン共和国における高度先導的薬剤師研修プログラム

- ・学部生及び大学院生を対象として、岡山大学と連携して、発展途上国での薬学教育および薬剤師業務の高度化に貢献できる国際性に富んだ高度先導的薬剤師の養成を大きな目標として掲げ、フィリピン・University of San Carlos（USC：岡山大学と大学間交流協定を締結済）における5日間の研修プログラムを実施した。
- ・参加学生の関心の高い授業への参加とUSC学部学生の実習の指導補助に加え、セブ・シティ市内の中核病院であるPerpetual Succour Hospital（PSH）と併設されているセブ・ガン研究所、さらに同市内薬局3店舗の視察など、実質5日間の海外研修を実施した。
- ・最終日には研修参加学生による英語でのプレゼンテーションを実施した。

◇ 参加人数：大学院生1名、学部生4名（岡山大学3名、徳島大学1名）、教員4名

<長崎大学>

○ 学生自主学修プログラム：アメリカ合衆国ニューメキシコ大学薬学部研修

- ・学部生を対象として、アメリカ合衆国アルバカーキ市のニューメキシコ大学薬学部を訪問した。ニューメキシコ州は薬剤師の活動範囲が全米で最も広い州であり、病院や薬局などの施設見学や講義を通して、薬剤師が最も身近な医療提供者としてどのように活躍しているのかを学んだ。
- ・薬剤師の教育を担う薬学部における授業や実習などを体験し、日本とアメリカ合衆国における薬剤師の職能や教育の共通点および差異について学んだ。
- ・多様な背景を持った薬学部生と意見交換し、現地の文化に触れることで、英語でのコミュニケーション能力、異文化や人種などの多様性を理解する能力、主体的な態度を涵養した。

◇ 参加人数：長崎大学5年次生1名、広島大学5年次生1名、教員1名（長崎大学）

2) その他（大学としての取組等）

<静岡県立大学>

○ 静岡県立大学・コンケン大学合同シンポジウム

- ・タイ・コンケン大学との合同シンポジウムを質丘県立大学で開催し、薬学部教員と大学院学生が英語での発表を行った。

○ 静岡県立大学・バンドン工科大学合同シンポジウム

- ・インドネシア・バンドン工科大学との合同シンポジウムを質丘県立大学で開催し、薬学部教員と大学院学生が英語での発表を行った。

○ US-COIL：大学の世界展開力強化事業

- ・カリフォルニア大学デービス校健康科学学部の外部講師と薬学部教員による講義をオンラインによる遠隔教育（COIL型教育）により実施した。
- ・本事業は上智大学・お茶の水女子大学との3大学で実施しており（2018～2022年度）、2019年度はカリフォルニア大学デービス校の大学院生及び上記2大学からも参加して、オンラインで実施した。

○ カリフォルニア大学デービス校大学間協定更新記念講演会

- ・カリフォルニア大学デービス校副学長を外部講師として招へいし（コロナウイルス感染拡大によりウェビナーに変更）記念講演会を実施した。

<岐阜薬科大学>

○ ドイツの薬局事情を学ぶ研修会

- ・ドイツにおける薬局・かかりつけ薬剤師の事情を学習するために、日本コミュニティファーマシー協会代表理事の吉岡ゆうこ先生と南ドイツロッテンブルク市で薬局を経営するアッセンハイマー慶子先生を招き研修会を行った。

<広島大学>

○ マレーシアなど海外大学との交流

- ・マレーシアInternational Medical University薬学部など、海外大学との派遣、受け入れ、共同研究などの交流を行った。

<熊本大学>

○ 米国ニューメキシコ大学（UNM）海外連携教育プログラムの開発

- ・学部生及び大学院生を対象として、UNMとの国際通用性の高い薬学学部教育プログラムの開発を行った。